

令和5年度 第3回社会教育委員会議 会議録

開催日時	令和5年10月13日 木曜日 13時30分から15時30分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	森英夫教育長、蓮實茂夫委員長、稲葉通隆委員、中西美保委員 関口金由紀委員、橋本由恵委員、山内みどり委員、三宅栄子委員
欠席者	久保田秀実副委員長
事務局	椎野教育部長、山下生涯学習課長、田嶋教育総務課長、加藤生涯 学習班長、井上スポーツ推進班長、竹本副主幹
その他	傍聴者1名

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 二宮町教育委員会表彰要綱の見直しについて

(事務局)

現在、児童生徒の表彰は、民間が主催する大会も公的機関が主催する大会と同様に要綱に基づいて行っている。近年、スポーツ及び文化活動の多様化により、民間主催大会は入賞者情報等の把握が困難になり、かつ、対象者の増加により、表彰の場である「新春のつどい」の式典時間を圧迫している。

このことから推薦基準及び表彰方法の見直しを、資料1 改定案2 の方向で進めており、民間主催大会の表彰方法を、児童生徒については小中学校に伝達した上で表彰を行ってもらい、高校生及び大学生については、直接通知を行い、教育委員会事務所に来てもらったうえで表彰を行うこととする。

この件については、教育委員会議で了承を得ており、社会教育委員の皆さんにもご理解とご了承をいただきたいと思い、ご説明させていただいた。

(委 員)

スポーツ分野の表彰に限らず、文化、芸術系を含め、広い範囲で表彰を行いたいという経緯があり、民間主催大会も公的機関主催大会と同じ推薦基準としてきたが、表彰時間はそんなに長くなるのか。また、これから先も表彰対象者数は増えていくのか。

(事務局)

昨年度の新春のつどいでは、子どもから大人まで 30 人程度を表彰している。

現行の表彰要綱では、これから先、文化及びスポーツの多様化に伴い、対象者数も増えていくことが予想される。そこで、推薦基準を狭めて対象者を減らすのではなく、表彰を行う場所を変えて、今まで通り多くの児童生徒を表彰するという形に変更していく案を進めている。

(委員)

スポーツ系は公的機関主催の大会が多いが、文化系は少ないイメージがある。

(事務局)

スポーツ系は、文化系のものに比べると多いが、極端に多いというわけではない。

(委員)

校長先生に朝礼などで表彰されることは、児童生徒にとって励みになると思うので、推薦基準は広いままで、できるだけ多くの表彰を行っていくことを念頭において見直しを進めてもらいたい。

(委員)

これは、公立学校の児童生徒だけが対象になるのか。私立学校の児童生徒については、どのような形で推薦されるのか。

(事務局)

私立学校の児童生徒でも、情報を得ることができれば表彰を行っている。

いかにして情報収集をするかが重要であるため、町のホームページ等で告知を行い、期限付きで推薦を募集する方法もあって良いと思う。

(委員)

表彰要綱については、今後、私立学校も含め、多くの児童生徒が表彰されることで喜びを分かち合えるよう、見直しを進めてもらいたい。

(2) 生涯学習推進計画について

(事務局)

生涯学習推進計画の原案が完成した。町民温水プールについては廃止条例

が議決されたため、以後の資料からは削除となる。1月にパブリックコメントを実施し、社会教育委員会議、教育委員会議を経て令和5年度内に策定する予定である。

(委員)

写真も多く取り入れて、とても分かりやすい資料になっている。

(委員)

細かな文言訂正や気づいた点については修正可能なのか。

(事務局)

可能であるので、お気づきの点があればご連絡いただきたい。

(3) 二宮町民温水プール等の今後について

(事務局)

令和5年9月の条例改正により、令和6年3月31日をもって温水プールの廃止が決定した。生涯学習課としては、他用途の体育施設としての検証等を行い、令和6年9月の議会全員協議会にて報告を行う予定である。プール跡地は市街化調整区域内にあり制限が多いため、現在、施設再編課を中心に転用の可能性について調査を進めている。町内で唯一稼働している山西プールは、長寿命化を目的とした大規模改修工事を行う。令和6年度に改修設計を委託し、令和7年度の営業終了後から大規模改修工事の着手を予定している。

(委員)

市街化調整区域とのことだが、体育施設として転用することは問題ないのか。

(事務局)

県との協議は必要となってくるが、同じ種類の施設であれば規制が少なく転用しやすい。

(委員)

山西プールの大規模改修は、どのくらいの規模で実施するのか。

(事務局)

町内で稼働している唯一のプールということで、長寿命化が前提となる。ま

た、50mプールであることから、多額の光熱水費がかかっており、費用対効果を意識しながら、今後、レイアウト変更等を考えていきたい。

温水プールは約30年前に建設され、長寿命化が図られずにここまできてしまい、設備の不良により廃止となった。これを繰り返さないことが大前提であり、山西プールが何かの要因で使えなくなることはないよう改修を行っていく。

加えて、近隣市町のプールを見ると、幼児も楽しめる形としているように、子どもが水に親しむところからの取り組みを教育委員会として考えていきたい。この2つを軸として、町民の健康づくりの場につなげたいと考えており、設計委託の段階で専門家の意見も踏まえながら進めていきたい。

(委員)

幅広い年代の意見を聞き、良い改修を行ってもらいたい。

(委員)

山西プールの大規模改修後の再開はいつになるのか。

(事務局)

約1年で工事を終え、令和8年には開設したい。

(委員)

温水プールの転用施設の候補には、プール施設も含まれるのか。

(事務局)

プール施設への転用は、山西プールを継続していくため含まない。

(委員)

山西プールの施設を夏季以外も有効に活用できないか。例えば、管理棟を活用して移動図書館等を行えないか。また、熱中症対策等を考え、屋根を付けることは可能か。

(事務局)

設計委託の段階で、専門業者からの意見等があれば、取り入れる可能性はある。費用対効果を見ながら進めていくが、山西プールも市街化調整区域に設置されているため規制が多い。

(委員)

今年度の学校水泳授業はどのように実施されるのか。

(事務局)

今年度は温水プールが使用できず、例年3コマ(1コマあたり2時間)実施していた授業が1コマになったが、来年度からは3コマに戻す予定である。

(4) 生涯学習センターリニューアル基本設計について(非公開)

4. その他

- ①文化祭について
- ②民俗芸能のつどいについて
- ③ふたみ記念館のミュージアムリレーについて

5. 閉 会